

長野県言語聴覚士会ニュースレター

Vol.16 No.2 2018年7月

—今回同封の郵送物です。ご確認ください。—

<各会員宛>

- 1.本ニュースレター
- 2.会報
- 3.会員名簿（各院所1部）

ニュースレター目次

- ・第19回県士会総会・分科会・地区懇話会のご報告
- ・PT・OT・ST 合同職業説明会ご報告
- ・常に学ぶ、感謝と思いやり、最後まであきらめない
～長野医療衛生専門学校 入学式 参加報告 等～
- ・シリーズ 災害リハビリって？ ～22～
- ・長野県言語聴覚士会 生涯学習プログラム基礎講座開催のお知らせ
- ・H30年度 コミュニケーション障害研究会 症例検討募集のお知らせ
- ・地域リハビリテーション活動支援推進のための人材育成事業“初期研修”
- ・2018年度第2回長野県全体構造法研究会
- ・会員情報管理からのお願い
- ・財務からのお願い
- ・広報部よりお知らせ
- ・求人案内

第19回県士会総会・分科会・地区懇話会のご報告

事務局長 藤森美恵

【総会のご報告】

平成30年5月20日に、第19回長野県言語聴覚士会総会が開催されました。

会員数361名中、出席者数101名、委任状数191名で、定足数を満たし、成立しました。

下記の議案は、すべて賛成多数で承認されました。

- 第一号議案：平成29年度活動報告
- 第二号議案：平成29年度会計報告
- 第三号議案：平成30年度活動方針・活動計画
- 第四号議案：平成30年度予算
- 第五号議案：会則の改訂
- 第六号議案：研究会後援規定

【分科会および地区懇話会ご報告】総会に先立って分科会と地区懇話会を開催しました。分科会では摂食嚥下・小児教材・高次脳機能障害・吃音の4テーマを企画し、それぞれ多くの会員の参加があり、盛会となりました。今年も昼食時間を利用して地区懇話会を開催しました。

多くの皆さんが顔を合わせる場となり、各地区、充実した場になったようです。様子や感想は会報にてご紹介します。

【新入会員】今年度、新たに 23 名の方が入会されました。歓迎会を兼ねた懇親会にも多くの新入会員の方が参加してくださいました。フレッシュな顔ぶれは、改めて会報にてご紹介します

PT・OT・ST 合同職業説明会ご報告

事業部部長 神田秀樹

5月27日（日）に長野市もんぜんぷら座、6月3日（日）に松本駅前会館にて開催された長野県PT・OT・ST3士会合同の高校生対象の職業説明会に、参加をしてきました。STブースへ訪れた高校生の人数は2会場で合計16名と盛況に行われました。

STを目的に参加した学生が年々増えている印象を受けています。なかには「TVで言葉が不自由な子の特集をしていたので気になってインターネットで調べていたらSTという職業を知り興味を持った」と言う学生や昨年度行われた高等学校でのST職業勉強会によりSTに興味を持ったという学生もいました。その一方で高校生自らSTについて調べて、進路相談の先生から「言語聴覚士について教えてほしい」と聞かれる学生もいました。

質問は仕事内容、求人数、大学と専門学校どちらが良いか、理系・文系どちらを学んだ方が良かったといった内容の質問をされることが多かったです。

年々STの認識は広がっている印象を受け一方で、まだ進路相談の先生にも知られていない高等学校もある現状です。来年度も今年度同様に職業説明会と職場体験により高等学校への認識を広く伝えられたらと思います。



常に学ぶ、感謝と思いやり、最後まであきらめない ～ 長野医療衛生専門学校 入学式 参加報告 等 ～

会長 安川 健治

本年度も、4月5日（木）、例年のように、長野医療衛生専門学校の入学式に参加させていただきました。本年度の新入生は、歯科衛生士学科16名、言語聴覚士学科16名（うち1名は編入生）、計32名でした。特に、言語聴覚士学科の新入生数は、過去最高と言われた前年度（17名≪うち3名は編入生≫）に迫る勢いで、とりわけ、新規の入学者数では、前年度の14名を上回る15名となっており、引き続き、志望者が増加傾向にある状況がうかがわれました。

式の冒頭、学校長式辞では、本年度から就任された 二宮 晏(やすし) 校長先生 が、これまでに約700名の卒業生を輩出し、医療・福祉のスペシャリストを養成してきた本校の役割を、「スタッフとして真心を寄せる人材の養成」という一文で端的に表しておられました。その上で、その「真心」の意味するところとして、「常に学ぶ気持ち」（生涯にわたり知性を磨き謙虚に学び続ける）、「感謝と思いやりの心」（人と人との絆を築く、人の痛みが分かり相手の立場に立って考える）、「最後まで諦めない強い気持ち」（必要なときには先生にサポートを求めることも）という三つのお言葉をいただきました。

次に、新入生を代表して、言語聴覚士学科の 上沼 郁乃 さんが、専門的分野の授業の中で知識・技術を磨き、専門職としてのコミュニケーション能力を高めて社会貢献したいと、「誓いのことば」を述べました。次に、言語聴覚士学科2年で学生会長の 毛利 穂並 さんが、医療・福祉の従事者として、コミュニケーション能力や豊かな人間性を培うために、いろいろな人と出会い「なるほど」と思えること、交流の場で大いに盛り上がり楽しむこと、生活に慣れ落ち着くことがたいせつであると助言した上で、これからの学生生活が充実したものとなることを祈ると、新入生に対する「歓迎のことば」を述べました。

ところで、本校は、県内で唯一、言語聴覚士を養成する課程を設置している専門学校として、重要にして貴重な役割を担っていただいている学校ですが、更には、専門職大学の設立という新たな形で、発展的に役割を遂行していくビジョンを持っておられるとのことです。前出の二宮校長先生が、信州大学、放送大学を経て、本校に招かれた経緯には、その実現に向けてお力を発揮していただきたいという、本校の願いが込められているとのこと、来賓控室で 成田 守夫 理事長 からご説明がありました。

式の後には、藤井 彰 法人事務局長から、「長野専門職短期大学（仮称）／設立募金のお願い」というパンフレット（右写真）をいただき、募金へのご協力を関係各方面に働きかけていただきたいとのご依頼を受けました。県士会にも、本校の卒業生はじめ、本校の新たな発展に向けたこのプロジェクトにご賛同いただける方は、

少なくないと存じますので、それぞれのお気持ちによって設立募金のお願い（パンフレット表紙）でご協力いただければと存じます。詳しくは、学校法人事務局の 藤井 事務局長（電話0268-23-3800）までお問合せいただきたいと思います。私といたしましても、本校の遠大なビジョンに向けた更なるご発展をお祈り申し上げます。



シリーズ 災害リハビリって? ~22~

安曇野赤十字病院 栗林貴之

災害発生時の初期対応 (E) 安全確保と安否確認

3. 支援対象となる災害時要援護者：防災活動において一般的には、次のものが該当する。

①高齢者、②身体障がい者（視覚障がい者、音声言語機能障がい者、肢体不自由者、難病患者など内部障がい者）、③知的障がい者、④精神障がい者、⑤乳幼児・児童、⑥外国人（日本語に不慣れな外国人）。

4. 要援護者の情報共有：個人情報保護に配慮しつつ、適切な情報共有が求められるが、行政が有する災害時要援護者関係情報の例としては、住民課等が担当部門である住民基本台帳や福祉課などが担当部門である身体障害者更生指導台帳、療育手帳交付台帳、精神障害者保健福祉手帳などがある。

（参考文献：大規模災害リハビリテーション対応マニュアル、医歯薬出版）

長野県言語聴覚士会 生涯学習プログラム基礎講座開催のお知らせ

生涯学習部

下記の通り、生涯学習プログラム基礎講座（第2回目）を開催します。

今年度は基礎講座を1年間で全受講できるように、2回/年の開催となり、今回が第2回目です。

また、例年通り、託児サービスを今回の基礎講座でも設置しますので、お母さん・お父さん会員の皆さんも、この機会に、是非、受講ください。

開催日時：平成30年10月13日(土) 12時30分～17時20分(予定)

会場：中信地区(塩尻～松本近辺)を予定

申し込み方法：事前申込制です(申し込み期間をご確認ください)。

件名に「生涯学習受講申し込み」、本文に下記必要事項を明記の上、学術教育部・生涯学習部共用メール(slht.nagano.gakukyo@gmail.com)へお申込みください。

《申し込み時必要事項》

①氏名 ②フリガナ ③協会番号(非協会員はその旨記載) ④所属先 ⑤地区名
⑤受講内容⇒受講される講座番号(1～3) ⑥託児希望の有・無

※同施設で複数名お申込みになる際には、まとめてお申し込みください※

申し込み期間：9月10日(月)～9月22日(土)

※期間以前の申し込みは受け付けません

講座内容：会場を選定中の為、時間が変更になる可能性があります

12時30分～14時(予定)

『言語聴覚療法の動向』 帯川一行 氏 (諏訪中央病院)

14時10分～15時40分(予定)

『協会の役割と機構』 竹内洋彦 氏 (県総合リハビリテーションセンター)

15時50分～17時20分(予定)

『研究法序論』 山岸 敬 氏 (長野赤十字病院)

受講費：基礎講座(一講座) 協会員 1,000円・非協会員 2,000円

※協会員とは、日本言語聴覚士協会の会員を示します

(県士会員でも協会の会員でなければ非協会員となります)

〔お願いとご注意〕

○講座開始 20分前から受付を開始します。

連続して2～3講座受講の方はまとめて受講費をお支払いただき、受講終了まで受講記録票をお預かりします。

混雑が予想されますので、受講費はお釣りの要らないように用意をお願いします。

○各講座開始後 15分までが受講受付可能 となっています。

15分以降は受講したとみなされませんのでご注意ください。

○協会より送られている<生涯学習受講記録票>を必ず

ご持参ください。必ず協会員番号・氏名をご記入ください。

〔託児サービスについて〕 ※県士会員限定のサービスとなります※

○委託先は総会時と同じ<有償託児サービスぱびいキッズ>

(HP:<http://pu-ppy-1781.sakura.ne.jp/>)です。

○対象年齢は生後2ヶ月～小学生(12歳)までです。

○受講の事前申込時に託児希望を明記していただき、追って、専用の託児申込書をお送りしますので、

別途、申し込みをしていただきます。

○託児サービスは 12:30～17:30 (5時間) まで設置します。料金はお子さんの人数は関係なく会員一人当たりとして、以下の金額になります。

1) 一講座受講 (約1時間半) : 500円

2) 二講座受講 (約3時間) : 1,000円

3) 三講座受講 (約4時間半) : 1,500円

お問い合わせ・事前申込先：生涯学習部担当 中島・市川・堀ノ内

slht.nagano.gakukyo@gmail.com

～県士会HP (<http://www.slht-nagano.org/>)にて、最新情報を随時、公開します。～

生涯学習受講記録票

会員番号

免許番号

氏名



JAS
一般社団法人
日本言語聴覚士協会

H30年度 コミュニケーション障害研究会

症例検討募集のお知らせ

長野県言語聴覚士会 学
術教育部

開催日時：H30年11月4日(土) 10:00~16:00

会場：中心地区

内容：10:00~ 講演 テーマ「家族支援」

藤沢 広信 先生（諏訪児童相談所 所長）

13:00~ 症例発表 テーマ「家族支援」

*症例発表を募集しています。

テーマを「家族支援」として、様々な領域から募集しています。

発表していただくと講師の先生にもアドバイスをいただけます。

(内容はテーマ以外のものでもかまいません。)

症例発表をしていただくと、生涯学習プログラムの修了項目に認定されます。

また、発表の方法やまとめ方など不安のある方は、
学術教育部で当日までお手伝いをさせていただきます。

症例発表の応募は9月1日(土)とさせていただきます。

応募は、メールの題名を「事例検討募集」とし、①名前、②所属、③題名((仮)でかまいません)を記載して以下にご連絡ください。

連絡先 slht.nagano.gakukyo@gmail.com (学術部担当 武藤、寺島)

『研修会のお知らせ』

地域リハビリテーション活動支援推進のための人材育成事業“初期研修”

◎介護予防推進コース

◎地域包括ケア推進コース

この研修は日本言語聴覚士会が主導する事業で、「地域リハビリテーション活動支援事業」を創設した厚生労働省の、リハ専門職に「全国津々浦々で地域包括ケアに貢献してほしい」そのために、リハ専門職の職能団体は「責任を持って貢献できる人材を育ててほしい」という声を受け創設されました。

この事業は、上記の2コースについて“初期研修”と“導入研修”を開催し、修了した会員を「リハビリ専門職の派遣要員として人材バンクに登録する」ことを目的としています。

現在、地域で活躍する言語聴覚士はそう多くないのが実情ですが、ご興味のある方には是非とも研修を修了していただき、将来的に地域リハビリテーションの担い手になっていただけると幸いです。

長野県でも下記の日程で第1回の“初期研修”を開催したいと考えています。

“導入研修”は長野県理学療法士会と共催で11月3日、4日を予定しています。

地域リハビリテーション活動支援推進のための人材育成事業“初期研修”

◎地域包括ケア推進コース 90分2コマ

9月1日(土) 13:00~16:30

◎介護予防推進コース 90分4コマ

9月2日(日) 9:00~16:30

場所 安曇野赤十字病院 会議室

詳しいお知らせや、申し込み方法等は7月下旬に各種MLを通じてメールでお知らせ致します。
また県士会HPにも掲載予定です。

ご不明な点がございましたら下記までお問い合わせください。

長野県言語聴覚士会 職能部

担当理事 保科悦士

slht.nagano.syokunou@gmail.com

○2018年度第2回長野県全体構造法研究会

日時：7月29日(日) 9:30~12:30

場所：相澤病院S棟第一会議室

内容：症例検討(小児吃音)、文献抄読：新編失語リハ応用編 p.64-p.69

会費：無料

問い合わせ・申し込み先：長野赤十字病院 二木保博 hkbt560@ybb.ne.jp

※JIST法に興味のある方ならどなたでも参加可能です。

◇会員情報管理からのお願い

会員情報管理からのお願い・お知らせ

●各種届出について

入会・変更・休会等をご予定の方は、当該届出書の提出をお願い致します。各種届出書は、県士会ホームページよりダウンロードできます。

【ダウンロード先】

<https://www.slht-nagano.org/> お問い合わせ等/各種届出等ダウンロード-m1紹介/

●2018年度会員名簿が同封されています。氏名の表記等、誤りがありましたら、お手数ですが、下記

事務局 会員情報管理宛にご連絡ください。

●ニュースレター配送数について

新年度となり、職場移動等で会員所属状況に変動がありました。

今回発送のニュースレターで部数の過不足がありましたら、お手数ですが、下記、事務局までお知らせください。

【ご連絡・問い合わせ先】 slht.nagano.jimukyoku@gmail.com

☆ 会 員 動 向 (7月13日現在) ☆

※各種届のNL掲載可と記載された会員の情報のみ掲載しています※

新入会員、勤務先変更、休会につきましては、同封の2018年度会員名簿をもってご報告とさせていただきます。

<施設名称変更>

小諸厚生総合病院→浅間南麓こもろ医療センター（東信地区）
※所在先住所変更もあり

<氏名変更>

白井結さん(旧姓：丸山)：浅間南麓こもろ医療センター（東信地区）
堀ノ内絵梨奈さん(旧姓 田中)：相澤病院訪問リハセンター（中信地区）
※堀ノ内さんの文字表記の誤りが前号NLでありました。
訂正すると共に謹んでお詫びいたします。

<退会>

朴梨香さん：長野中央病院（北信地区）

◇財務担当より 年会費納入のお願い◇

平成30年度の年会費について、5月20日開催の総会で多くの皆さんに納入いただき、ありがとうございました。勤務等で総会に出席できず、年会費の納入ができなかった皆さんは、お手数ですが**8月31日まで**に下記口座への振込をよろしくお願い致します。職場でまとめて代表の方が振り込んでいただいても結構です。

年会費	①正会員 5,000円 ②賛助会員 個人3,000円/団体1口10,000円 ③休会ニュースレター希望 1,000円
振込先	八十二銀行 稲荷山支店 店番号284 普通口座番号283261 長野県言語聴覚士会 会計 吉川沙希子

年会費領収書発行について大切なお知らせ

平成 29 年度より年会費徴収は基本的に＜総会当日＞としました。
また財務業務の軽減化を含め、総会当日の徴収以外に年会費を口座振込された会員の皆さんには、「領収書の送付を行わない」こととします。振込用紙を大切に保管ください。
所属先へのご提出などで領収書が必要な方はお手数ですが、下記までご連絡ください。

連絡先☞事務局アドレス：slht.nagano.jimukyoku@gmail.com

◇広報部よりお知らせ◇

広報部より、HP 一部変更のお知らせ。

HP で NL バックナンバーが閲覧、ダウンロードできるようになりました。ホーム→ 会員専用ページ→ パスワード入れログイン → 会員専用ページの右上バナーに “NL バックナンバー” がありますので、そこをクリックして下さい。今年度分の NL を掲載しております。必要な時にご活用下さい。

尚、会員向け情報ページのパスワードは「nagano」です。所属一覧などはそこから確認できます。会員の皆様ご活用ください。



◇求人案内◇

名 称：医療法人 公生会 竹重病院

〒380-0815 長野県長野市田町 2099

募 集：常勤 1 名

経験者のみ

対 象：成人言語・高次脳機能障害・摂食嚥下障害、小児言語・発達障害、その他
(場合により、併設の老人保健施設や訪問リハビリの兼務あり)

応募方法：随時募集また見学も受付けています。(要予約)

その他：業務内容、勤務時間、福利厚生など詳細は担当者までお問い合わせください。

問い合わせ先：担当者：事務 毛内（もうない）Tel 026-234-1281

掲載にあたり、不足している箇所がありましたらご指摘頂ければと思います。



長野県言語聴覚士会 ニュースレター 2018年7月

発行：長野県言語聴覚士会広報部 NL 担当

〒393-0077 長野県諏訪郡下諏訪町矢木町 214

社会医療法人 南信勤労者医療協会 諏訪共立病院

TEL：0266-28-2012（代）FAX：0266-28-5241

E-mail：slht.nagano.koho@gmail.com

※次号は9月末です。掲載ご希望の情報などがありましたら、
平成30年9月末までに広報部 NL 担当にご連絡ください。